

平成22年6月25日

各 位

株式会社物語コーポレーション

代表取締役社長 小林 佳雄

(コード番号 3097 東証第二部・JASDAQ)

問い合わせ先 専務取締役管理本部本部長 高山 和永

TEL 0532-63-8001

東京証券取引所第二部への上場に伴う当社決算情報等のお知らせ

当社は、本日、平成22年6月25日に東京証券取引所第二部に上場いたしました。今後とも、なお一層のご指導ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願ひ申し上げます。

なお、当社の当期の業績予想は以下のとおりであり、また、最近の決算情報等につきまして別添のとおり（添付資料は平成22年5月7日に公表済みの資料です。）であります。

【通期・単体】

(単位：百万円、%)

項目	決算期	平成22年6月期 (予想)		平成22年6月期 第3四半期累計期間 (実績)		平成21年6月期 (実績)	
		構成比	前年比	構成比	構成比		
売上高		12,430	100.0	9,395	100.0	11,578	100.0
営業利益		1,028	8.3	689	7.3	918	7.9
経常利益		1,020	8.2	709	7.5	895	7.7
当期純利益		539	4.3	354	3.7	453	3.9
1株当たり当期純利益		384円36銭		288円22銭		371円61銭	
1株当たり配当金		50円		25円		45円	

- (注) 1. 当社は子会社がありませんので、連結財務諸表を作成しておりません。
2. 平成22年2月8日開催の取締役会において、平成22年6月期中間配当を1株あたり25円と決議しております。
3. 平成22年6月期(予想)の1株当たり当期純利益は、平成22年6月4日に公表いたしました公募株式数(160,000株)を含めた期末予定発行済株式数1,403,500株(潜在株式は考慮しない)により算出しております。

以上

平成22年6月期 第3四半期決算短信(非連結)

平成22年5月7日

上場取引所 JQ

上場会社名 株式会社 物語コーポレーション
 コード番号 3097 URL <http://www.monogatari.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役管理本部本部長
 四半期報告書提出予定日 平成22年5月14日
 配当支払開始予定日 —

(氏名) 小林 佳雄
 (氏名) 高山 和永

TEL 0532-63-8001

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年6月期第3四半期の業績(平成21年7月1日～平成22年3月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年6月期第3四半期	9,395	8.5	689	△2.8	709	3.0	354	1.9
21年6月期第3四半期	8,655	—	710	—	689	—	347	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年6月期第3四半期	288.22	282.89
21年6月期第3四半期	285.14	281.23

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年6月期第3四半期	7,468	1,919	25.7	1,559.38
21年6月期	7,181	1,626	22.6	1,321.37

(参考) 自己資本 22年6月期第3四半期 1,919百万円 21年6月期 1,626百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年6月期	—	20.00	—	25.00	45.00
22年6月期	—	25.00	—	—	—
22年6月期(予想)	—	—	—	25.00	50.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年6月期の業績予想(平成21年7月1日～平成22年6月30日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	12,430	7.3	1,028	12.0	1,020	14.0	539	18.8	438.36

(注) 業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注)詳細は、4ページ【定性情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 無
- ② ①以外の変更 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年6月期第3四半期	1,230,900株	21年6月期	1,230,600株
② 期末自己株式数	22年6月期第3四半期	—株	21年6月期	—株
③ 期中平均株式数(四半期累計期間)	22年6月期第3四半期	1,230,713株	21年6月期第3四半期	1,220,100株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の実績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、3ページ【定性情報・財務諸表等】3. 業績予想に関する定性情報をご覧ください。

定性的情報・財務諸表等

1. 経営成績に関する定性的情報

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、経済政策効果や輸出を中心とした経済環境の改善により緩やかな回復基調に転じているものの、デフレや円高を背景とした企業業績や雇用情勢、所得環境の悪化が続き、景気の先行きは不透明な状況で推移しました。

外食業界におきましては、消費者の生活防衛意識の高まりにより節約志向が強まっており、経営環境は依然として厳しくなっております。

このような状況の中で当社は、直営店の新規出店及びフランチャイズ加盟企業の獲得により業容の拡大を図りながら、経営目標である「お客様の心のリラックス」を実現するために、当社の強みであり接客の基本である「とびっきりの笑顔」と「心からの元気」の実践を徹底し、顧客満足の向上を図ることで既存店舗の業績向上に取り組みで参りました。また、積極的な販売促進活動を行うとともに、食べ放題を始めとしたお徳感が得られるメニューの導入などによって既存顧客の再来店を促す施策を実施いたしました。さらに、計画的な新規出店と改装を行うことで、新たな顧客獲得に努めて参りました。

店舗展開につきましては、直営店において11店舗の新規出店と13店舗の改装及び1店舗の閉店を、フランチャイズ店において14店舗の新規出店と4店舗の改装及び6店舗の閉店を実施いたしました。これにより、当第3四半期会計期間末におけるチェーン全体の店舗数は175店舗（直営店81店舗、フランチャイズ店94店舗）となりました。

以上の結果、当第3四半期累計期間の業績は、売上高9,395,982千円（前年同期比8.5%増）、営業利益689,580千円（前年同期比2.8%減）、経常利益709,868千円（前年同期比3.0%増）、四半期純利益354,710千円（前年同期比1.9%増）となりました。

焼肉部門におきましては、4店舗の新規出店と13店舗の改装を実施し、売上高4,849,816千円（前年同期比9.1%増）となりました。

専門店部門におきましては、売上高487,245千円（前年同期比0.1%増）となりました。

中華部門におきましては、3店舗を新規出店し、売上高1,787,914千円（前年同期比13.9%増）となりました。

お好み焼部門におきましては、4店舗の新規出店と1店舗の閉店を実施し、売上高1,212,096千円（前年同期比3.3%減）となりました。

フランチャイズ部門におきましては、焼肉業態において4店舗の改装と1店舗の閉店を、中華業態において11店舗の新規出店を、お好み焼き業態において3店舗の新規出店と5店舗の閉店を実施しました。売上高については、加盟契約店舗数の増加による売上ロイヤルティ収入の増加等により、1,058,908千円（前年同期比17.6%増）となりました。

2. 財政状態に関する定性的情報

当第3四半期会計期間末の総資産は7,468,204千円となり、前事業年度末と比較して286,236千円の増加となりました。これは主に設備投資により有形固定資産が増加したこと等によるものであります。

当第3四半期会計期間末の負債は5,548,503千円となり、前事業年度末と比較して7,131千円の減少となりました。これは主に買掛金や運転資金のための借入金が増加したこと、未払法人税等が減少したこと等によるものであります。

当第3四半期会計期間末の純資産は1,919,701千円となり、前事業年度末と比較して293,367千円の増加となりました。これは主に利益剰余金の増加によるものであり、自己資本比率は25.7%となりました。

3. 業績予想に関する定性的情報

平成22年6月期の業績予想につきましては、平成22年2月8日に公表しました内容に変更はございません。

4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

①法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前事業年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるので、前事業年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

②税金費用の計算

税金費用については、当第3四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。なお、法人税等調整額は、「法人税等」に含めて表示しております。

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	当第3四半期会計期間末 (平成22年3月31日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成21年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,242,276	1,488,926
売掛金	214,225	175,751
商品及び製品	85,155	75,959
原材料及び貯蔵品	12,094	10,172
その他	259,766	220,109
貸倒引当金	△67	△52
流動資産合計	1,813,451	1,970,866
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	2,610,278	2,366,878
その他(純額)	1,257,019	1,069,192
有形固定資産合計	3,867,298	3,436,071
無形固定資産	69,574	73,074
投資その他の資産		
差入保証金	1,317,376	1,292,854
その他	400,504	409,102
投資その他の資産合計	1,717,880	1,701,956
固定資産合計	5,654,752	5,211,101
資産合計	7,468,204	7,181,968
負債の部		
流動負債		
買掛金	435,133	300,681
短期借入金	248,668	155,000
1年内返済予定の長期借入金	1,065,775	1,036,292
未払法人税等	60,893	353,978
賞与引当金	66,961	—
株主優待引当金	20,643	—
その他	725,121	789,607
流動負債合計	2,623,196	2,635,559
固定負債		
長期借入金	2,185,187	2,173,466
退職給付引当金	107,410	92,925
役員退職慰労引当金	159,160	152,330
その他	473,549	501,353
固定負債合計	2,925,306	2,920,075
負債合計	5,548,503	5,555,634

(単位：千円)

	当第3四半期会計期間末 (平成22年3月31日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成21年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	413,260	412,700
資本剰余金	318,925	318,925
利益剰余金	1,187,125	893,953
株主資本合計	1,919,311	1,625,578
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	134	500
評価・換算差額等合計	134	500
新株予約権	255	255
純資産合計	1,919,701	1,626,333
負債純資産合計	7,468,204	7,181,968

(2) 四半期損益計算書
(第3四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成20年7月1日 至平成21年3月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成21年7月1日 至平成22年3月31日)
売上高	8,655,126	9,395,982
売上原価	2,516,480	2,686,231
売上総利益	6,138,646	6,709,751
販売費及び一般管理費	5,428,608	6,020,170
営業利益	710,038	689,580
営業外収益		
受取利息	9,178	9,389
受取配当金	71	45
受取賃貸料	14,670	14,670
協賛金収入	28,798	59,256
その他	4,099	4,235
営業外収益合計	56,819	87,597
営業外費用		
支払利息	59,627	51,223
賃貸収入原価	13,500	13,500
その他	4,725	2,585
営業外費用合計	77,852	67,308
経常利益	689,004	709,868
特別利益		
固定資産売却益	—	12
補助金収入	1,228	—
特別利益合計	1,228	12
特別損失		
固定資産除却損	36,492	22,490
解約精算金	—	12,600
その他	1,742	11,578
特別損失合計	38,235	46,668
税引前四半期純利益	651,997	663,212
法人税等	304,094	308,502
四半期純利益	347,903	354,710

(第3四半期会計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期会計期間 (自 平成21年1月1日 至 平成21年3月31日)	当第3四半期会計期間 (自 平成22年1月1日 至 平成22年3月31日)
売上高	2,945,856	3,307,177
売上原価	849,890	966,038
売上総利益	2,095,966	2,341,139
販売費及び一般管理費	1,830,444	2,083,641
営業利益	265,522	257,498
営業外収益		
受取利息	3,117	3,136
受取賃貸料	4,890	4,890
協賛金収入	9,730	19,909
その他	981	1,143
営業外収益合計	18,718	29,079
営業外費用		
支払利息	18,972	16,431
賃貸収入原価	4,500	4,500
その他	426	1,311
営業外費用合計	23,898	22,242
経常利益	260,342	264,335
特別利益		
投資有価証券評価損戻入益	27	—
その他	3	—
特別利益合計	30	—
特別損失		
固定資産除却損	929	7,390
リース解約損	—	3,547
特別損失合計	929	10,937
税引前四半期純利益	259,442	253,397
法人税等	119,375	117,257
四半期純利益	140,067	136,139

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成20年7月1日 至平成21年3月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成21年7月1日 至平成22年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	651,997	663,212
減価償却費	311,865	354,646
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	8	14
株主優待引当金の増減額 (△は減少)	—	20,643
賞与引当金の増減額 (△は減少)	58,897	66,961
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	11,761	14,484
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	5,000	6,830
受取利息及び受取配当金	△9,250	△9,435
支払利息	59,627	51,223
有形固定資産売却損益 (△は益)	—	△12
有形固定資産除却損	23,877	19,745
リース解約損	—	3,547
補助金収入	△1,228	—
投資有価証券評価損益 (△は益)	1,742	2,884
売上債権の増減額 (△は増加)	△26,224	△38,473
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△15,267	△11,117
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	△21,131	△39,239
仕入債務の増減額 (△は減少)	70,810	134,451
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△21,488	△31,325
未払費用の増減額 (△は減少)	31,660	25,344
その他の負債の増減額 (△は減少)	30,745	△85,842
預り保証金の増減額 (△は減少)	47,000	15,060
その他	△5,507	4,245
小計	1,204,896	1,167,849
利息及び配当金の受取額	171	72
リース解約違約金の支払額	—	△3,547
利息の支払額	△57,733	△50,048
法人税等の支払額	△417,146	△599,709
営業活動によるキャッシュ・フロー	730,187	514,616
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の増減額 (△は増加)	△1	△0
有形固定資産の取得による支出	△573,496	△801,784
有形固定資産の売却による収入	—	190
無形固定資産の取得による支出	△3,692	△11,233
投資有価証券の取得による支出	△600	—
差入保証金の差入による支出	△135,614	△76,276
差入保証金の回収による収入	81,817	61,226
その他	697	△436
投資活動によるキャッシュ・フロー	△630,890	△828,313

(単位:千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成20年7月1日 至平成21年3月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成21年7月1日 至平成22年3月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	195,000	93,668
長期借入れによる収入	626,000	840,000
長期借入金の返済による支出	△800,773	△798,796
割賦債務の返済による支出	△8,226	△8,347
株式の発行による収入	—	560
配当金の支払額	△71,040	△60,037
財務活動によるキャッシュ・フロー	△59,039	67,046
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	40,256	△246,650
現金及び現金同等物の期首残高	1,242,502	1,487,920
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,282,759	1,241,270

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

6. その他の情報

該当事項はありません。